

受 験 番 号					

氏 名	

2021年度
放送大学大学院修士課程
文化科学研究科 文化科学専攻
人間発達科学プログラム
筆記試験問題

試験日：2020年10月3日（土）

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題（3ページ）の順に綴じられています。試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（試験問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。
小問題及び選択問題を解答する際の番号等は、解答用紙のマス目の左側の「小問題番号等記入スペース」に記入してください。
なお、問題文中に別途記入方法の指示がある場合はそちらに従ってください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、人間発達科学プログラムは3枚以内で解答してください。指定された字数に従って解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を綴じているホチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。
9. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙は試験終了後に回収します。試験問題冊子及び下書き用紙に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

人間発達科学プログラム 筆記試験問題

第1問と第2問の両方に解答しなさい。なお、第1問と第2問の解答にはそれぞれ別の解答用紙を使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を記入すること。

第1問

(1) 以下の文章を読み、100字以内の日本語で内容を要約しなさい。

Adult learning is a phenomenon at once deceptively simple, yet enormously complex. It is simple because we know that learning “is of the essence of everyday living and of conscious experience; it is the process of transforming that experience into knowledge, skills, attitudes, values, and beliefs” (Jarvis, 1992 : 11). However, it is also complex because there is no one definition, model, or theory that explains how adults learn, why adults learn, or how best to facilitate the process. Yet the learning of adults is the key theme that unites the otherwise widely disparate field of adult education. Whether in community-based literacy classes, training sessions in corporate settings, or continuing professional education seminars, practitioners share the common goal of facilitating adult learning. Rather than a single definition or description of adult learning, what we have is a colorful mosaic of theories, models, sets of principles, and explanations that, when combined, form the knowledge base of adult learning.

出典 : This article was published in Publication “Adult Learning and Education”, Kjel Rubenson, Page 29, Copyright Elsevier, 2016.

(2)以下の文章を読み、①と②のそれぞれの問について日本語で答えなさい。

- ① この研究で用いられた調査データについて、70字以内で説明しなさい。
- ② この研究で得られた知見として、中産階級の若者と、労働者階級や貧困層家庭との若者の相違を150字以内で要約しなさい。

Using both qualitative longitudinal data collected 20 years after the original *Unequal Childhoods* study and interview data from a study of upwardly mobile adults, this address demonstrates how cultural knowledge matters when white and African American young adults of differing class backgrounds navigate key institutions. I find that middle-class young adults had more knowledge than their working-class or poor counterparts of the “rules of the game” regarding how institutions worked. They also displayed more of a sense of entitlement to ask for help. When faced with a problem related to an institution, middle-class young adults frequently succeeded in getting their needs accommodated by the institution; working-class and poor young adults were less knowledgeable about and more frustrated by bureaucracies. This address also shows the crucial role of “cultural guides” who help upwardly mobile adults navigate institutions. While many studies of class reproduction have looked at key turning points, this address argues that “small moments” may be critical in setting the direction of life paths.

出典 : Cultural Knowledge and Social Inequality by Annette Lareau, Jan 29, 2015,
American Sociological Review, Sage Publications Inc.
<https://doi.org/10.1177/0003122414565814>

注：アメリカ社会学会会長講演(2014 Presidential Address)

第2問

次の(1)、(2)のいずれか一方を選択して解答しなさい。選択にあたっては、自分が専攻したいと思う分野の設問を選び、解答のはじめには、必ずどの問題に対して解答するのか、その番号及び分野名を明記すること。

なお、(2)には問が2つあるので、両方解答すること。

(1)〔教育学分野〕

今般の新型コロナウイルス感染拡大により日本全国の初等・中等・高等教育の各校で休校措置がとられた。その後、緊急事態の長期化により、各校では授業日数・時間数の大幅な不足に頭を悩ませることとなった。そのような中で台頭してきたのが、「9月入学・9月始業」への移行という議論である。その議論について、①「9月入学・9月始業」のテーマが今回特に議論されるようになった理由・背景、②「9月入学・9月始業」への移行によって期待される正の効果、③「9月入学・9月始業」への移行にともなう生じると思われる負の効果や課題について、それぞれまとめ、その上で「9月入学・9月始業」への移行に関する自分自身の見解を述べよ(1200字以内)。

(2)〔心理学分野〕問の番号を明記してから、解答すること。

問1：次の心理学の領域のなかから、自分の関心や研究テーマに最も近いものを1つ選び、その学問領域の特徴について、研究対象、研究手法などの観点から説明しなさい。該当する領域名がなければ、その領域名(犯罪心理学、スポーツ心理学、交通心理学など)を示したうえで、特徴を説明してもよい。取り上げる領域の名称を冒頭に記すこと(400字以内)。

知覚心理学、学習心理学、認知心理学、生理心理学、比較心理学、教育心理学、発達心理学、臨床心理学、パーソナリティ心理学(人格心理学)、社会心理学、産業・組織心理学、文化心理学

問2：次の理論・モデル・概念のなかから1つを選び、説明しなさい。取り上げる理論・モデル・概念の名称を冒頭に記すこと(400字以内)。

知覚の恒常性、条件づけ、記憶の二重貯蔵モデル、スキーマ、メタ認知、内発的動機づけ、観察学習、愛着、刻印づけ(刷り込み)、ビッグファイブ、認知的不協和理論、傍観者効果、ホーソン効果、PM理論、剰余変数